



人と企業に選ばれるまちを目指す

市長戦略 2.0 最前線

戦略は実感へ

▶市長戦略の
詳細はこちら

☎介護保険課 995-1821

地域で支え合う「チームオレンジすその」の いま、そしてこれから

18の加盟店とつなぐ安心の輪

「チームオレンジすその」は、令和5年度の始動以来、認知症になっても本人がやりたいことを続けられる街を目指しています。現在、市内のスーパーや薬局、交通機関など18店舗・事業所が加盟し、のぼり旗やステッカーを掲げて温かく見守る体制を整備し、確かな安心の輪が広がっています。



これらの課題を解決するため、認知症サポーター養成講座を引き続き開催し、地域を支えるサポーターを育成していくほか、チームオレンジへの加盟を促し、地域一体となった支援体制を強化していきます。

また、周りの人の力を少し借りることへの抵抗をなくし、安心して外出できるよう「希望をかなえるヘルプカード」の活用を広めていきます。認知症になっても誰もが笑顔で暮らせる裾野市を目指し、市民の皆さん、そして事業者の皆さんの温かいご理解とご協力をお願いします。



もっと身近な輪へ、もっとつながる活動へ

一方で、認知症の人がより安心して暮らすためには多くの地域の力が必要ですが、加盟店がなかなか増えないことが課題となっています。また、認知症であることを隠さずに出外できるなど、これまで通りの生活を送り続けられる社会づくりはまだ十分でないのが現状です。

9月は認知症月間

認知症月間に合わせて、例えば市内公共施設のライトアップなど楽しんでもらうことで啓発につながるイベントができないかと検討しています。シンボルカラーのオレンジ色の温かな光を通じて、認知症について考えるきっかけとなるよう、実現に向けて取り組んでいきます。

すくすく
成長中!

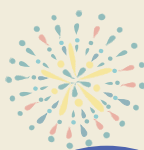
裾野っ子

市内に住んでいる
3歳0カ月までの
子ども紹介!

■誕生月の2カ月前までに右記の2次元コードを読み取り、オンラインフォームから申し込んでください。



りょうへい
武田 稜平さん
2歳11カ月
佐野本宿



りお
森山 理央さん
2歳11カ月
二ツ屋1



あきひろ
山崎 秋滉さん
2歳10カ月
今里



おとわ
堀池 音羽さん
2歳10カ月
佐野上宿



さな
岡部 紗奈さん
2歳10カ月
麦塚



8月図書館だより

開館時間／火・水・土・日曜日 9時～17時／木・金曜日 9時～19時
休館日／3日(月)・10日(月)・17日(月)・24日(月)・27日(木)・31日(月)



☎鈴木図書館 992-2342 ☎文化センター図書室 993-9305

新刊紹介



一般書

モナリザの裏側

著者：一色 さゆり
出版社：新潮社

大好きな母親と共にルーヴル美術館を訪れた女性は、パリ留学中に会ったという両親の、ある絵にまつわる思いがけない秘密を知ることになり…。名画に導かれ、人生が動き出す人々を描いた5つの物語を収録した短編集です。



児童書

しょくどう

作・絵：はらぺこめがね
出版社：偕成社

町の食堂にやってきたあるお客さん。店内のテーブルには、どれもおいしそうな定食がずらりと並んでいて、思わず「どれにしようかな」と迷ってしまいます。結末にはユーモアもあり、読んで楽しい絵本です。



行事予定

市立鈴木図書館

『あいとへいわ展』特別おはなし会

時 1日(土) 10時30分～11時

夜な夜なおはなし会

夏の夜にピッタリな話を中心としたおはなし会です。

時 21日(金) 18時～

図書館閉架書庫見学会

時 22日(土) 9時、10時15分、13時30分、14時45分 各回最大1時間

定 各回5人(先着順)

申 1日より図書館窓口で申し込んでください。

親子おはなし広場

時 4日(火) 10時30分～11時

文化センター図書室

おはなしの会

時 8日(土) 11時～11時30分

親子おはなしの会

時 18日(火)
10時30分～
10時50分



すそのびと
Susonobito No.85

第29代高校生平和大使

高田 稟子さん
不二聖心学院・17歳



高田さんは第29代高校生平和大使に選出され、6月に広島市で行われた結団式で任命書が手渡されました。

応募のきっかけは、中学生のときに長崎で被爆者の生の声を聴いたこと。体験を伝える人が少なくなる中、自らが記憶を語り継ぐ『語り継ぎ部』になると決意しました。喜びを感じる反面、「自分の言葉や行動が周囲に影響を与えます」と大役の責任を実感しています。

結団式に併せて行われた研修では、被爆者から投げかけられた『想像できますか?』という言葉が高田さん

の胸に刺さりました。「苦しみは想像しきれませんが、どうすれば思いを伝えていけるのか、言葉の重みを深く考えさせられました」と真剣な表情をのぞかせます。

8～9月にはスイス・ジュネーブの国連本部へ向かい、署名を届けスピーチに臨みます。本県ゆかりの「第五福竜丸」の被爆事件(ビキニ事件)にも触れ、核の被害は広島・長崎だけにとどまらないことを訴える予定です。

「被爆を自分に関係がないと感じる人も、少し視野を広げると、県内の事件や身近な空襲の歴史が見えてきます。一人ひとりに『自分なりの平和』を考えてほしいです」と力強く呼びかけました。



署名を呼びかける高田さん